

## 刊行にあたって

医学の発達と国民の高齢化に伴い、歯科医師は今後さらに全身疾患を有する患者を診療する機会が増加します。もし歯科医師が患者の全身状態を把握せずに治療して、被害を発生させた場合には、注意義務違反等が問われることになります。したがって、歯科医師は医科疾患を直接治療することはありませんが、医学知識を十分備えている必要があります。

そこで本書は、歯科医師が治療を開始する前に、問診および問診票から得られた患者の治療中の医科疾患や障害・既往症等について、短時間で把握できるようにエッセンスのみ記述しました。また、医科疾患の概要は電子辞書やインターネットで調べることが可能ですが、本書は歯科医師が医科疾患をもつ患者の治療を行ううえで必要な注意点・観血的処置・投薬・対診科等に関する情報を載せることで、より実用的なものにしています。そしてアペンディクスでは、医科と連携を行ううえで必要な情報提供の方法や紹介状の読み方、また心電図の読み方や採血法等についても記載しています。

本のサイズは小型ですが情報は満載です。研修医はもちろん、すべての歯科医師のポケットに忍ばせて患者さんのために活用していただけると確信しています。

編集委員一同